

イノベーション教育のオンラインにおける影響について

森口茉莉亜、油井毅

徳島大学高等教育研究センター

1. はじめに

文部科学省は2020年5月13日、新型コロナウイルス感染症対策に関する大学等、専門学校の対応状況について発表した。大学等で授業の開始時期を延期するのは930校、例年どおりの時期で実施するのは116校だった（全1,070校中1,046校から回答）。同年6月1日時点で授業を実施していると回答のあった大学等のうち、約6割においては、面接授業は実施されておらず、遠隔授業によって授業が実施されている。面接授業と遠隔授業が併用されている大学等は約3割、感染拡大の防止に配慮しつつ、学生を通学させて行う面接授業が実施されている大学等は約1割である。全部または一部の授業を遠隔によって実施していると回答のあった大学等において、全面的な面接授業を開始する予定となっている時期については、約5割で検討中となっており、約2割が8月以後の時期としている。6月前半、6月後半、7月中に開始すると答えた大学等は、いずれも1割未満となっている。

本研究では様々な学年を調査対象にするために高等教育研究センター学修支援部門創新教育推進班の教員らが担当している教養教育イノベーション科目群3科目、大学院総合科目1科目の履修者にアンケート調査を行う。新型コロナウイルスの影響による生活や気持ち等の変化とともに演習系授業に取り組む前提となる「チャレンジ精神」の高い学生の意識について詳細に分析する。

2. 調査概要

- (1) 調査対象：教養教育イノベーション科目（イノベーションチャレンジクラブ、イノベーションプロジェクト入門・実践、ベンチャービジネス入門）、大学院演習授業（デザイン思考演習、技術経営特論）履修者（一部未履修者含む）
- (2) 日時：2020年5月18日～22日
- (3) 調査方法：Google フォームによるメール配信
- (4) 回収：198、回答145（回答率73.2%）、有効回答145

3. 基礎統計

図1より、日々の生活の中で「大きく減少した」と回答した項目で最も多いのは「Q7-1 労働（バイト）時間」、次が「Q7-5 所得（バイト代）」、3番目が「Q7-8 生活全体の幸福感」、4番目が「Q7-7 学習全体の満足度」となっている。これら上位項目は「減少した」も高い回答率になっている。また、「Q7-4 余暇時間」は半数以上が「大きく増加した」「増加した」と回答した。一方で、約半数は「Q7-1 労働（バイト）時間」、「Q7-5 所得（バイト代）」で変化がないことも確認できた。

4. ベイジアンネットワーク分析

今回は自宅待機や行動制限による「生活の変化（Q7）」と「チャレンジ精神（Q4）」の高い学生の意識や学年（Q2）の違いの関係性を詳細に分析するためにベイジアンネットワークによる感度分析を実施する。

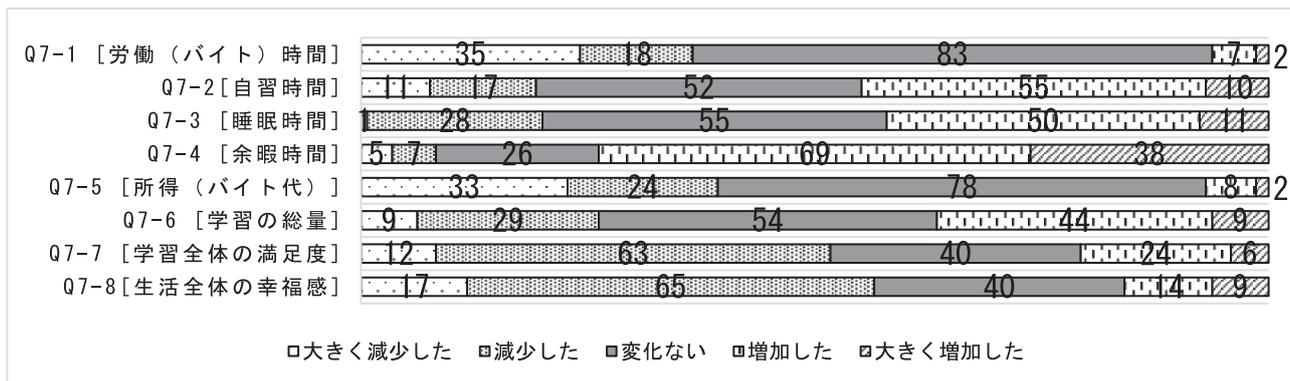


図1 生活の変化 (Q7)

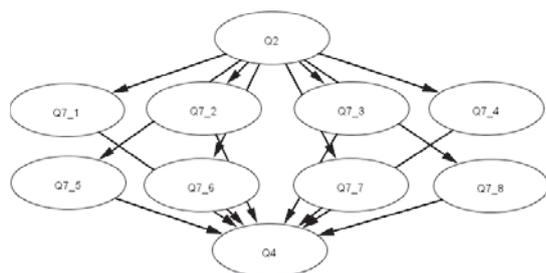


図2 ネットワーク構造

各項目にエビデンスを設定して感度分析を行い事前確率と事後確率を比較し変化をとらえる。結果は表1に示すとおりである。

分析の結果、チャレンジ精神が高いと自己評価している学生は下級生に多く、それら学生は労働時間や所得、さらには学習や生活全般の幸福感が低下していることが明らかになった。一方で、自習、睡眠、余暇時間は減少が見られず、学習の総量も減少しないことからチャレンジ精神の高い下級生は生活リズムを保ち、遠隔授業システム等を活用しながらモチベーション高く学習していたことが確認できた。

大学側は学生がチャレンジできる学習環境を作ることで、新型コロナウイルスの影響による緊急事態だけでなく、ニューノーマル時代(予測できない変化が繰り返される時代)に柔軟に対応できる学生を育成できる可能性が高いことが考えられる。

表1 事前確率—事後確率(差)

| | | 事前確率 | チャレンジ精神Q4 (事後確率) | |
|---------------|------|-------|------------------|--------|
| | | | そう思う | 差 |
| 学年 Q2 | 下級生 | 0.622 | 0.624 | 0.002 |
| | 上級生 | 0.128 | 0.127 | -0.001 |
| | 大学院生 | 0.250 | 0.249 | -0.001 |
| チャレンジ精神 Q4 | そう思う | 0.655 | 1 | - |
| 労働時間 Q7_1 | 減少した | 0.068 | 0.076 | 0.009 |
| 自習時間 Q7_2 | | 0.446 | 0.437 | -0.009 |
| 睡眠時間 Q7_3 | | 0.419 | 0.416 | -0.003 |
| 余暇時間 Q7_4 | | 0.730 | 0.721 | -0.008 |
| 所得 Q7_5 | | 0.074 | 0.083 | 0.008 |
| 学習の総量 Q7_6 | | 0.365 | 0.359 | -0.005 |
| 学習全体の満足度 Q7_7 | | 0.209 | 0.211 | 0.001 |
| 生活全体の幸福感 Q7_8 | | 0.162 | 0.165 | 0.003 |

参考文献

「新型コロナウイルス感染症対策に関する大学等の対応状況について」
https://www.mext.go.jp/content/202000513-mxt_kouhou01-000004520_3.pdf、文部科学省、2020年5月

「新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた大学等の授業の実施状況」
https://www.mext.go.jp/content/20200605-mxt_kouhou01-000004520_6.pdf、文部科学省、2020年6月

ポスター発表